

旧小原家住宅 (きゅうおばらけ・じゅうたく)

旧小原家は花巻市東和町谷内にあり、当地方の一般的な農家の曲屋(まがりや)だったと考えられます。建築年代は不明ですが、古い時期に直屋(すごや)から曲屋に改造されたものとみられ、住宅の平面や構造などからみて18世紀中頃の建築と推定されています。曲屋は、「南部曲屋」と呼ばれるように盛岡藩(南部藩)で馬の飼育が盛んに奨励された江戸時代中期頃に工夫された住宅形態で、母屋に対して直角に馬屋が張り出し、平面形がL字型になる建物です。

旧小原家の建物は、19世紀中頃の嘉永年間に建物の改造が行われ、南面に突出した馬屋の部分はこの時に取り付けられ、直屋から曲屋になったものと考えられています。

外周りに壁が多く、上屋根に太い柱がきちんとあることは、当地方の民家の特徴をよく表すものです。

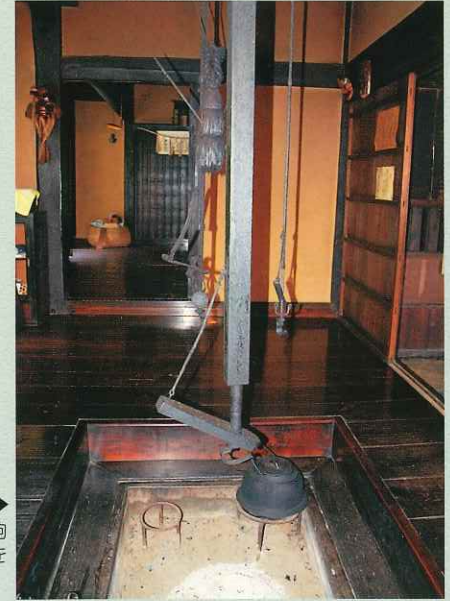
曲屋が発生したと思われる時期に建築された住宅で、曲屋の発生過程をうかがうことのできる重要な建物として、昭和44年に国の重要文化財(建造物)に指定されました。

その後、所有者が新居を建築する際に、市が譲り受けて、昭和51年に旧谷内小学校跡地に移築復元しました。



▲小原家全景

曲屋は人が住んでいる母屋と、家の中で馬などを飼っていた馬屋(厩)がL字型に結合した南部藩特有の民家です。



自在鉤とベンケイ▶

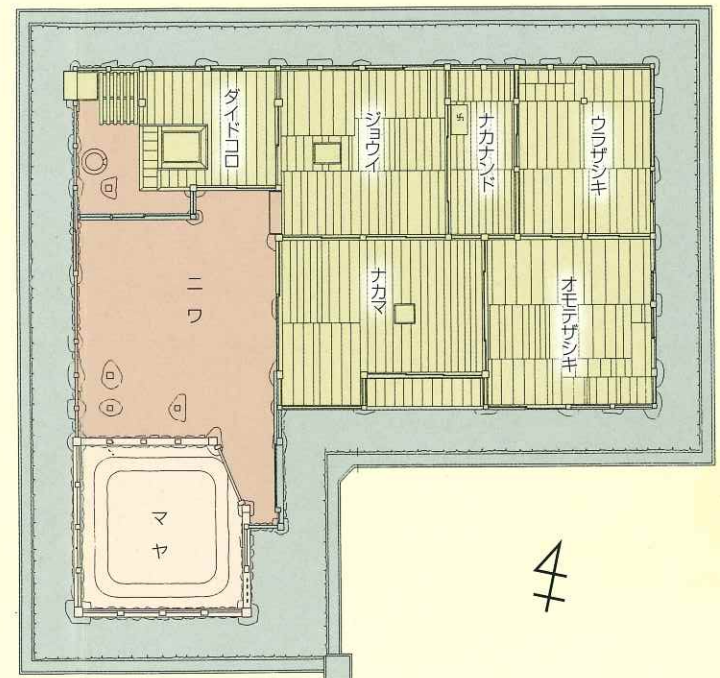
台所のいろりに掛かる自在鉤とベンケイは古民家の雰囲気をよく伝えています。



▲小原家の内部

炉端、カマドから立ちのぼる煙や湯気は、室内に暖かさをもたらすとともに、建物内部の防虫・防腐の役目を果たしています。

小原家平面図



所在地: 岩手県花巻市東和町谷内6区37
名称: 旧小原家住宅 (きゅうおばらけ・じゅうたく)
構造: 寄棟造、茅葺
母屋: 桁行き16.3m、梁間9.6m
馬屋: 桁行き5.8m、梁間5.7m
指定日: 昭和44年12月18日
<公開時間: 9:00~16:30 休館日: 月曜日、11月16日~4月30日>